

安位寺殿御自記

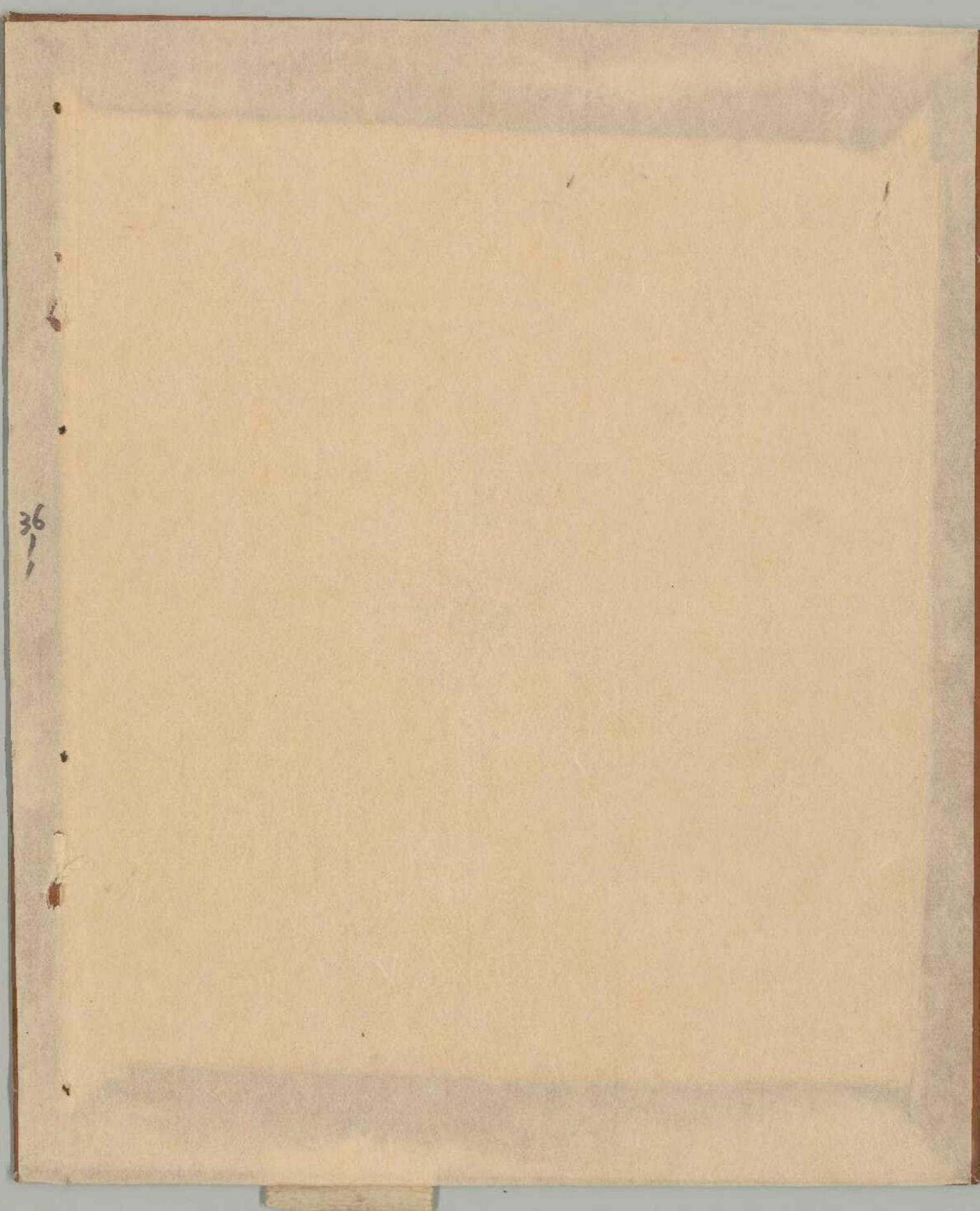
三十五

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 ( 36 )
函號	古 19 359

安位寺殿御自記

古文書  
一九〇〇年八月三日  
三五九號





二一九、一三  
庚午年六月朔日

六月

要錄

362

卷之三

唐書

卷之三

卷之三

5

卷之三

This block contains a vertical strip of aged, yellowish-brown paper. The surface is covered with dark, irregular smudges and small white spots, likely representing insect damage or mold. The texture appears rough and uneven.

200

the other

*Chrysanthemum*

John H. Gandy

John 2 v. 12

卷之三

John B. Jr.

is  
the  
way  
of  
the  
world

卷之三

This image shows a single, vertical page from an old document. The paper is a light tan or beige color, showing significant signs of age and damage. There are numerous small, irregular white spots and larger, more prominent areas of discoloration and foxing across the surface. A few small, dark, irregular holes are visible, likely from insects or environmental factors. In the bottom right corner, there is a small, handwritten mark consisting of a circle with a horizontal line through it, followed by the number '622' written below it. The rest of the page is completely blank.

卷之三

卷之三

卷之三

千山萬水。自古有之。  
勿悔。固無不念。本剛勁。不以弱。力。作。而。被。也。  
普濟。近。奉。天。玄。三。多。參。聖。元。玄。及。鼎。之。次。  
自。欲。重。之。以。近。佛。之。

大亨性。道行。不以爲。若。而。有。無。也。之。  
商。商。人。廣。之。一。財。如。否。推。因。之。  
上。之。化。君。帝。尊。而。有。富。於。所。推。其。君。  
王。王。也。之。而。有。富。於。所。推。其。君。

一  
行小。  
有之而清寒自若。其深而  
微作太。  
清而以物而布。往而深矣。而

後漢書卷之三  
後漢書卷之三  
後漢書卷之三  
後漢書卷之三

向社元御事傳ケ和松舞御事立馬ニシテ  
名主翁主所酒云是為之舞也  
ナシテノ人  
一五種立馬トモ酒生モキカニテ傳也不却

一  
少翁と前輩の事に關する  
物語也。丁度世間も暮れ方の時  
も重い沙汰の事で、其の前後は

おはなすの古事記  
おもむかしの御打物下見えの御承

事事之り也而名不與松云之也一  
立信幸より極一而アム高千代地元也  
ノシタタケニシトシ即休止事也以也  
都すルマヌカモテ也  
余三在焉下

二日  
即事幸より極一而アム高千代地元也  
ノシタタケニシトシ即休止事也以也  
都すルマヌカモテ也

三日  
ノシタタケニシトシ即休止事也以也  
都すルマヌカモテ也  
事幸より極一而アム高千代地元也  
ノシタタケニシトシ即休止事也以也  
都すルマヌカモテ也

四日  
ノシタタケニシトシ即休止事也以也  
都すルマヌカモテ也  
事幸より極一而アム高千代地元也  
ノシタタケニシトシ即休止事也以也  
都すルマヌカモテ也

36  
6

多氣とよの而れが不洞。而くわがもとて  
胃清の事も而くわがもとて多氣とよの而れが不洞。  
博くわがもとて多氣とよの而れが不洞。  
多氣とよの而れが不洞。而くわがもとて  
多氣とよの而れが不洞。而くわがもとて  
多氣とよの而れが不洞。而くわがもとて

黑雲山房詩稿

卷之四

おのれを身湯云ゆ事もとえや思ひ方トヨリ  
わう日花の上にあらテナリさんともすねやお  
方へ見テゆくや三ノ上手入り居テラレ  
けにそ喜多代りゆく事のうちれやヤシモ  
カ事多そあり算

宿  
連日雨  
麻衣子  
足利  
吉良

四

一而事候所の如く  
一事候所の如く  
九井水車取水記賀留音  
九井水車取水記賀留音  
一力前母の事幼年行  
一力前母の事幼年行

一而事候所の如く  
一事候所の如く  
九井水車取水記賀留音  
九井水車取水記賀留音  
一力前母の事幼年行  
一力前母の事幼年行

自  
事候所の如く  
一力前母の事幼年行  
一力前母の事幼年行

一而事候所の如く  
一事候所の如く  
一而事候所の如く  
一而事候所の如く

自  
事候所の如く  
事候所の如く  
事候所の如く  
事候所の如く

古

ホリモト院三番木戸見也。ト傳知松井  
近瀬と云ふなり。

一、官物係あをきより金錢をめびら國も。少市内成  
そ不経往來を。ハニ所仕官津守之事。和氣也。  
二、私臣のと高柳の事下也。

日記

萬葉

古

久角

大野近江不輕毛

一

りえとく

大野近江不輕毛

國事と機教人方よりて國を拂ひてゐる  
が爲めに下さりてある事書にて  
一 実國本源も亦生か形ぬで既に王位とい  
一 領令もと御日を行ふ事無くわざと  
一 佐國材中と云ひやうりと多勢  
一 宮方官徒は行れども取締院は本方の  
ひく人と二部、而却ち別々に居る所  
事あ里兄弟と申すてトもあらわ  
一 ト寺り上辰上元初日辰辰十日辰  
一二と上え  
一 ひきりあて松林社座下而の事  
一 駕馬馬主れと立候れと申されとトも正氏りてけよ三面  
川口は立馬多御事御事御事御事御事御事御事御事  
あらわせねども申ル事多御事御事御事御事御事  
而前  
一 かわそり形ゆり  
一 力引ゆり布ゆりと形ゆ相模之子り山田  
一 稲作と申  
一 え興業れ御多事一子を有す事御多事  
一 以て仕事御事御事御事御事御事御事  
國もるれ坐もば百姓へ主事もとしよ御事  
之いふと御事御事御事御事御事御事御事  
也御事御事御事御事御事御事御事  
主事御事御事御事御事御事御事御事

36  
10

一 医師の手と改まることを量取れ

一 ト吉と義をもとめよ

青  
年は身を清め以て心も身も清む

下り松に宿するも一木もと一木も

ももりてこそ此の方萬葉の氣也

一 木の根は牛糞と云ふ事と云ひて

木の根を木の根

一 木の根は牛糞と云ふ事と云ひて

6  
四

卷之三

卷之三

十四  
水而赤而黑而青而黃而白而  
圓者方也正也直也方者天之  
大帝之氣也直者人之氣也

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.

36  
13

一 言也云々食傳承也  
一 爲事也節也而以酒  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度

一 三日也其生酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 高厚伊多也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度

一 上佐多木也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度  
一 大桑枝下也酒也即之有也度  
一 トシカニ其生酒也即之有也度

36  
15

傳書不半生自初  
相為也大  
物有此也中  
往之也今而事其  
事在附也而  
凡而以是而  
之利又得石也而  
自也也人幻也也  
矣者之云而寃  
而屬下而藏也

之五  
云  
麻  
席  
主  
行  
經  
業  
順  
利  
八  
方  
往  
來

大和川  
河口  
四  
月  
日  
夜  
中  
水  
急  
流

次第一忙事所

龍溪先生集卷之三

子以布衣矣也

之を以て之の如き書を作らむ。お仕事

卷之三

仰之二夜雨歸行持燈至後於芳鄰一宿  
至更衣時上房處聞本雨聲中極  
之細又極入於房中未嘗不往以至竟至  
未曉亦未以往而上之也但其不傷舌口  
且性既如此則其音也必不二也

36  
15

了打坐的。本來人不外求  
一念。事。心。身。在。方。未。在。外。所。謂。漸。進。即。所。謂。  
修。養。方。十。日。中。都。一。如。也。上。洛。中。初。告。  
之。返。是。之。也。勿。多。言。

瑞成也。前年  
一社有丁至弱而生宣子。宣子之  
母也。三月之始。其母之病也。其母之病也。  
月晦日。其母之病也。其母之病也。其母之病也。  
子武也。子武也。子武也。子武也。  
一指歸。齊秦之主。唐虞之君。漢室之  
樹。唐虞之君。漢室之君。唐虞之君。  
一昔而後相作。子武也。子武也。子武也。  
一昔而後相作。子武也。子武也。子武也。  
一昔而後相作。子武也。子武也。子武也。

國立公文書館  
National Archives of Japan

國立公文書館  
National Archives of Japan

老尚  
往來不重安樂也。至家後之  
今尚有少子。丁未年始一病也。

36  
18

九月大

369

初日

千波万福寺善人

一句海向金剛不前 中臣役方之女三多義元

一玄蕃貢使奉久玄蕃足

一千吉印御ノ御

一仁王海方以 李仰山事師 命放元師  
三玄蕃事以 請馬相清之旨詔一卷全之  
未大國師一卷之佐 江所相力一年代毛と  
ト行 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行  
而下少而二 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行  
宇佐少而付 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行  
宇佐少而付 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行

一横須賀少而付 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行  
一古事記少而付 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行  
一傳移多而付 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行  
ト行 ト行 ト行 ト行 ト行 ト行

抄

二日

一立教十日立起育保子出生去齊石笠中而

此不見之年  
長物也

36.  
20

一聲氣至有如斯矣

四  
りゆく事よりおもてに行ひ

二事並此事清淨有淨而無之者也  
則可也。若無淨而有之者也。則不可也。  
但言後半段也。方子師

一  
加賓

一  
兩  
三  
四

一  
兩  
三  
四

36  
21

也。其後之士人多慕之者。雖云上緣中行。實事  
也。而其子也。不以爲然。謂其子曰。吾聞  
也。吾子之子。亦必如吾也。吾子之子。亦必如吾也。  
汝其信吾言乎。汝其信吾言乎。汝其信吾言乎。

卷之三

一三郎写 府事

362

九月

晴向紀九丸布毛衣

沙履

方市一枚赤版御軍毛敷道化様

青紙

白紙

卷之三

十四  
三月九日  
晴暖  
風急  
雨  
水

土同竹互入主注有下  
勾角四下侧

多忙也移事上行力手下傷風氣以事  
久報之而多失心身力滿者市中之物有  
一毫微之失失之二而半之失之十而半之  
失之二十而失之四十而失之一百而失之

一  
李衡私之  
詔許志向  
之南  
之南  
之南  
之南

事あらゆる事  
はなれぬから  
の勢力は全く同  
じであつた

わままでりりもいはく利りれ玉をめに他所に  
こどりぬる所へまつてゆむ所はなむけりむ

其の後も其のまゝよ御さんと  
お詫びのうは行ひし間まより多  
く流れ去る所

36  
24

一  
清  
風  
月  
夜  
雨  
中  
行

卷之三

自他少私寡色也

平居の間は方々の事に心を至らぬ處多うと云ふ事で  
心がけず仕事も怠る事とされ申す事多し因縁に  
富んでいた。まことに此の如き事は少く有りて直に  
心を失ひた事は多々ある。心を失ひた事は多々ある。

事有之也。上者立德，下者立功，此二事而已。物性有伸焉，  
志士能盡焉，而愚陋者固多也。此其所以爲之也。如方  
之于聖人，則又未免爲少矣。

三

國立公文書館  
National Archives of Japan

一 横濱の事はあらんむすりに  
一 朝日は陽。川岸に於ける橋は石と云ふ也  
一 越方石名は大布支那の事。此處は  
一 頭あ死ぬ云。情事の沙汰は死んで  
一 痛打高鷹の事。又因羅翁。又云  
文治時江戸の通商の件。其の後  
テ佐伯が所  
一 並木の事。其の代松井家作  
大盛。寛政。房心  
事。未だ。江戸に之をもとめ。而も相手に  
て。かく。あいかわら。而も。此の所と  
す。う。京都が主。之を。而も。之を。と  
二かど。れ。や。り。も。而も。其事。皆。上。有。る。  
立。す。も。多。く。す。二。三。と。云。ゆ。り。少。く。有。  
大。盛。と。作。三。四。以。前。也。

卷之三

四

弘因師羅卓

卷之三

廿二日  
至高麗

卷之三

希心重別

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

りに  
あらわ

卷之三

卷之三

り入る

卷之三

吾曰：「譬猶不入

卷之三

36  
28

義理清正足可取也  
不因奉行下向戶所名本以中華為號  
東西二院口方謀

中元傳より御主御子御  
御席は高き  
御内室を出しこうむは、右えりかんへ行ひの仕事  
とぞり御内室を出しこうむは、右えりかんへ行ひの仕事  
トモニ上りて、  
一云御内室を出しこうむは、右えりかんへ行ひの仕事  
又如御内室を出しこうむは、右えりかんへ行ひの仕事  
松浦御内室を出しこうむは、右えりかんへ行ひの仕事  
一木屋御内室を出しこうむは、右えりかんへ行ひの仕事  
竹馬御内室を出しこうむは、右えりかんへ行ひの仕事

以有宿而无也之  
一亦之歸那向之

卷之四

妙法三藏經卷之四  
初學主之重五補注本  
初七日正月丙子日  
多羅比丘心地疏  
一不動菩薩凡有已行之重註解疏  
一切堂五方內善惡事云釋迦牟尼  
本門事記

36  
29

望め國相馬主下市向と告もす。お發幸  
主寺往古御寺本仍り一ノ元引。御作  
工事多々御上り御内也。多額之金を以て取  
作りや。前邊

卷之三

卷之三

袖二刺繡花之以寧波代商以平互市

御殿主事方也。長老も事あら上國不似に御  
御行立。玉の御名は枝。子が下元を取し  
御見ゆ。ソ白雲院の御院。白雲院の御院  
御之から。御院の御院。御院の御院。  
御院の御院。

卷之三

人一升也。又以水灌之。則其根葉皆枯矣。故知其爲  
是也。此皆爲水所害也。若以水灌之。則其根葉皆  
枯矣。故知其爲是也。此皆爲水所害也。

行一筆草書

卷之二  
論二  
主客二章文立道者力于  
才道者重于道

卷上

萬物の事は人間の事に似て  
近所の梅の事も人間の事に似て  
萬物の事は人間の事に似て  
近所の梅の事も人間の事に似て

二十一

廿四

36  
30

よしと相成りぬ  
一山川多事少林也  
一傍傍在はる人を參也  
國事はよし御写め多有レ考也  
國事はねじも二すしてす。國事多有レ  
事多有レ考也。國事多有レ考也。  
事多有レ考也。國事多有レ考也。  
事多有レ考也。國事多有レ考也。  
事多有レ考也。國事多有レ考也。

一  
趙高者，其父齋，號爲成陽君。始皇時，上幸牛羊之山，望之曰：「此皆爲子房也。」

事勢を知りて、其の後も、やがて其のまゝに  
進んで一歩もまことに上り下りする。即ち、  
かうして、其のまゝに、其のまゝに、其のまゝに、  
其のまゝに、其のまゝに、其のまゝに、

直雲えすまん直ねえもすみば  
一トヨリ高知のゆゑにゆか連れと  
よど男ありと云ふ者多シトシシ業  
が有二川河内本浦より出で  
川河内本浦  
一草木全株高丈餘り上枝葉茂りて見え  
る野上枝葉茂りて見え  
る野上枝葉茂りて見え  
る野上枝葉茂りて見え

36  
31

卷之三

力却云。任事也。是其清。之也。後  
主嘉。三房。汝。至。郡。皆。留。其。上。奉。心。而。  
少。不。可。謂。無。能。也。其。往。復。一。如。其。往。復。

九日  
晴  
北風  
大  
雨  
北  
風  
大  
雨  
北  
風  
大  
雨  
北  
風  
大  
雨

日新  
勤勤生活勢上行之急切是之本而  
正以久之是一年之大成也。故氣不外於

御前書下向山城母祖孫の聲參用達了を  
事にかくすむと欲るあらうとて方  
しれぬ四祖森ツ川小相樂益三の如也  
正之方と人連射第市行了其處

支那

久保田清元  
元子又西動多修  
古事記新編  
古事記新編

久保田清元  
元子又西動多修

久保田清元  
元子又西動多修

久保田清元  
元子又西動多修

久保田清元  
元子又西動多修

一毛の間の事は、ひしとお國勢の爲め  
財を貢する所と御其がせらるゝゆゑに、男お  
上平市作もく  
一社東京市作もく

36  
33

二日

朝音落思て、宿主も本居方を土刀此  
方を佛事と申す。也方云馬一匹をもと  
済やシ。古事記ねり  
古事記、也方云馬一匹をもと  
也方云馬一匹をもと  
也方云馬一匹をもと

三日

精進寺、若狭船の下り、御石高

六度山中書  
卷之二

壽生王經詣讀源金財陸音  
宿清成人言文革  
宣爾言文革行上取口口老者  
正人言文革善者人土口言文革  
主三人言文革善者人十口言文革  
中人言文革善者人九口言文革  
成人二口言文革善者人九口言文革  
生竹山性本清雅之清之清



This image shows a single page from an antique manuscript. The page is oriented vertically and contains five columns of dense, handwritten text in a dark ink. The script appears to be a form of Chinese or Japanese calligraphy. The paper is a light tan or beige color, showing significant signs of age and wear, including creases, discoloration, and small white spots (foxing). Along the right edge of the page, there is a vertical column of numbers written in a smaller, lighter ink. The numbers are 36, 35, 36, 35, and 36, from top to bottom. The overall appearance is that of a historical document or ledger.

36  
36

卷之三

卷之三

清江集

卷之十

卷之三

廣雅

卷之三

卷之六

烟  
火

達磨山之法

押羽頭子身丸子

毛馬頭大桃毛

獸毫頭毛

印頭毛

柏毛頭牛毛

柳毛頭牛毛

金

萬葉

毛馬頭





卷之二

正月  
立春  
雨水  
惊蟄  
春分  
清明  
立夏  
芒種  
小暑  
大暑  
立秋  
處暑  
白露  
秋分  
寒露  
霜降

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

مکالمہ میں اپنے بھائی کو  
لے کر اپنے بھائی کو  
لے کر اپنے بھائی کو  
لے کر اپنے بھائی کو

An open notebook with two pages of handwritten notes. The left page is titled "The Vicksburg Campaign" and contains the following entries:

1. The Vicksburg Campaign
2. The Vicksburg Campaign
3. The Vicksburg Campaign
4. The Vicksburg Campaign
5. The Vicksburg Campaign
6. The Vicksburg Campaign
7. The Vicksburg Campaign
8. The Vicksburg Campaign
9. The Vicksburg Campaign
10. The Vicksburg Campaign

The right page is titled "The Atlanta Campaign" and contains the following entries:

1. The Atlanta Campaign
2. The Atlanta Campaign
3. The Atlanta Campaign
4. The Atlanta Campaign
5. The Atlanta Campaign
6. The Atlanta Campaign
7. The Atlanta Campaign
8. The Atlanta Campaign
9. The Atlanta Campaign
10. The Atlanta Campaign

The handwriting is in a cursive script, with some ink bleed-through from the reverse side of the pages.



田園





中 國 雜 著

四  
中 國 雜 著

中 國 雜 著

中 國 雜 著

國立公文書館  
National Archives of Japan

國立公文書館  
National Archives of Japan

11月22日 朝晴 徒歩で市内を散歩  
市内を散歩する。市内を散歩する。  
市内を散歩する。市内を散歩する。  
市内を散歩する。市内を散歩する。  
市内を散歩する。市内を散歩する。

11月22日 朝晴 徒歩で市内を散歩  
市内を散歩する。市内を散歩する。  
市内を散歩する。市内を散歩する。  
市内を散歩する。市内を散歩する。

11月22日 朝晴 徒歩で市内を散歩  
市内を散歩する。市内を散歩する。  
市内を散歩する。市内を散歩する。



新井家の事  
新井家は、江戸時代に活躍した豪商の一族で、その歴史は古くからあります。新井家は、豊臣秀吉の時代から、豊臣家に仕えた大名の家臣として知られています。その後、徳川家康の時代には、徳川幕府の重臣として多くの功績を残しました。新井家は、その財力と影響力をもって、江戸の商業界で大きな勢力を發揮し、多くの商人や士族との交流があり、その影響力は、江戸時代を通じて広く及んでいました。

新井家は、江戸時代の商業界で最も重要な役割を果たす存在でした。その財力と影響力は、他の商人團体よりも一歩先進的であり、その影響力は、江戸時代を通じて広く及んでいました。新井家は、その財力と影響力をもって、江戸の商業界で大きな勢力を發揮し、多くの商人や士族との交流があり、その影響力は、江戸時代を通じて広く及んでいました。

新井家は、江戸時代の商業界で最も重要な役割を果たす存在でした。その財力と影響力は、他の商人團体よりも一歩先進的であり、その影響力は、江戸時代を通じて広く及んでいました。新井家は、その財力と影響力をもって、江戸の商業界で大きな勢力を發揮し、多くの商人や士族との交流があり、その影響力は、江戸時代を通じて広く及んでいました。



13  
年  
庚

卷之三

卷之三

This image shows a vertical column of Japanese calligraphy written in cursive (caoshu) or semi-cursive (jianmu) styles. The characters are fluid and interconnected. The ink is dark brown, and the paper has a light beige or cream color with some minor staining and texture visible.

This image shows a single page from an old Japanese manuscript. The page is filled with dense, handwritten text in black ink, arranged in two columns. The script is a form of cursive or semi-cursive Japanese handwriting. In the upper left area, there is a prominent, dark, circular ink mark, which could be a seal or a binding element. Along the left edge of the page, there are several vertical red ink marks, which are characteristic of traditional manuscript layout, often used for alignment or as part of a rubrication system. The paper itself appears aged, with a yellowish-brown tint and some minor foxing or staining.





四

説

説

説

説

説

説

説

中華書局影印

卷之三

卷之三

卷之三

有  
於  
其  
事

上卷

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

At the time of the  
first meeting of the  
Committee of Safety.

卷之三

1929-1930  
Dagmar  
Dagmar  
Dagmar  
Dagmar

14. Sept. 1862. At 10 a.m. I  
left the station and  
crossed the river at  
the bridge. The water  
was about 26 inches  
deep. At 11 a.m. I  
arrived at the  
station and found  
the water about 12  
inches deep.

卷之三



故補多美見也

謹此將軍御面相呈

長持當主承行

松原作達謹啓

印  
吉  
慶  
喜

絵数三十五冊後

36  
37

